



ゴール目指して力走

第30回記念白根市一周駅伝大会

十一月十一日、さわやかな秋晴れの中、第三十回記念白根市一周駅伝大会が開催されました。大会には、中学生の部のチームを含む、トビチームが参加。白根地区公民館前を一齐にスタートし、十区間五十一キロをたすきでつなぎました。

大会結果は次のとおりです。

【一般の部】①新潟大学C 2時間38分27秒(大会新) ②能生町陸上クラブL ③白根マラソンクラブ

【中学生の部】①新飯田中学校 3時間45分51秒

※タイムは一位のみ掲載、敬称略。



ライフラインを守ります

平成13年度ガス水道災害対策訓練

地震の際に、ガス・水道施設を迅速に復旧するため、ガス水道局は白根管工事協会(小山幸雄会長)の協力を得て、十一月八日にガス水道災害対策訓練を実施しました。

この訓練には、「災害時におけるガス水道施設の応急復旧に関する協定」を結んでいる協会十九社と同局からの約七十人が参加。地震による被害を想定した仮設復旧作業のほか、局職員による非常招集や浄水場停電時の施設稼働作業など、緊張感漂う本番さながらの訓練が行われました。



見直そう、あなたの交通マナー

交通死亡事故が多発

昨年10年間のうち、白根警察署管内で最も事故が発生した月が12月です。この時期は、日が早く暮れる上、気温が急激に下がって雪が降ったり、路面が凍結したりするなど、交通・道路環境が著しく悪化します。今年は管内での死亡事故が前年の2倍以上発生しており、一層の注意が必要です。これ以上、事故の犠牲となる人を増やさないために、一歩ひとりが交通マナーをもう一度見直して、事故をなくしましょう。

TOPICS

まちの話題



祝 創立10周年記念式典

地域ぐるみで10周年を祝う

白根北中学校 創立10周年記念式典

十一月十七日、白根北中学校(小田徹校長)の創立十周年記念式典が同校体育館で盛大に行われました。これは、地域やPTA、学校が一体となって実行委員会を組織して行われたもので、同校の生徒五百八十一人と吉沢市長、市議会議員、地元自治会長ら合わせて約八百人が出席。生徒を代表して小池くみこさんが「今までの伝統を受け継ぎ、より良い白根北中学校を築きあげていきたい」とあいさつしました。

式典終了後、地元の女性コーラスグループ「コーラスマロー」の合唱や同校吹奏楽部の演奏が披露され、地域ぐるみで十周年を祝いました。



守ろう自然、わたしたちの手で

白井小学校6年生 PR看板を除幕

十一月七日、白井地区上赤浜の水防センター前で、「信濃川をきれいにしよう」のPR看板除幕式が行われました。

この看板は、信濃川をきれいにすることを目的に、白井小学校六年生四十二人が考えた「生きる川 守ろう自然 わたしたちの手で」のロゴとデザインを元に製作されたもので、除幕は六年生全員と、吉沢市長など関係者らの手で行われました。

六年生を代表して佐藤拓哉君が、「みんなでアイデアを出し合い、信濃川を両手で包み込むように描きました。いつまでも美しい自然を守っていきたいです」とあいさつしました。

しっかり止まって、はっきり確認

次の項目をしっかり確認していますか。事故を防ぐ第一歩です。

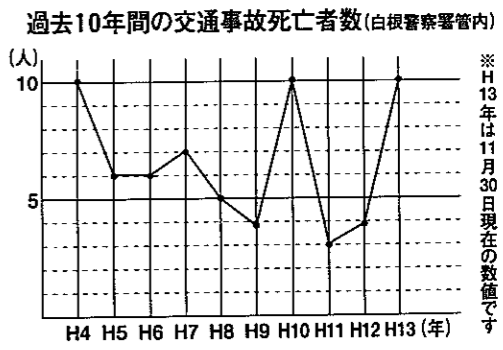
- ・横断歩道に歩行者はいませんか？
- ・自転車横断帯に自転車乗りはいませんか？
- ・停止線の手前でしっかり止まって、左右の確認をしましたか？
- ・対面の信号は、青色ですか？

死者数は平成4年と10年に並ぶ10人に

白根警察署管内(白根市、味方村、月湯村)での交通死亡事故が多発しています。十一月三十日現在の死者数は、前年の四人を大幅に上回る十人で、これは過去十年間で、平成四年と十年に並ぶ最悪の数です。また、発生件数、負傷者数も、前年同時期をともに上回っています。

今年の死亡事故を見ると、点滅信号や一時停止がある交差点で多く起きており、前後左右の安全の未確認が、主な事故原因となっています。

また、死者の半数以上が、歩行者や自転車・バイクなどの二輪車を利用する人です。これからの季節、雨や雪などで視界が悪くなったり、日没で暗くなったりすると、ドライバーは、歩行者や自転車・バイクの利用者の姿を確認しにくくなります。点滅信号・一時停止があるところや、横断歩道は、左右をしっかり確認し、車の動きに十分注意しましょう。



お互いに注意して 事故をなくしましょう

ドライバーは安全運転を心掛けることはもちろん、暗くなったら早めにライトを点灯し、外灯が少なくないところでは、ライトを上向きにして歩行者や自転車利用者などの早期発見に努めましょう。また、この時期は、忘年会などでお酒を飲む機会が増えます。飲酒運転は絶対に止めましょう。

歩行者や自転車利用者は、白っぽい色の服を着るとともに、自転車や靴、体に反射材を取り付けるなど、ドライバーから発見されやすくして、自分の位置を知らせることが大切です。

お互いが事故に遭わないよう、交通マナーをしっかり守り、事故を未然に防ぐ意識を高く持ちましょう。